

産応協からの提言 (6/29・HPCI 計画推進委員会)

HPCI 産業利用促進に向け、政府に先導的に実施してほしい事項

産応協はこれまで、HPCI における産業ユーザ代表コミュニティとして、コンソーシアム等の場を通じ、種々の提言を行ってきました。平成 29 年 9 月 29 日に開催した HPCI 計画推進委員会において産応協は、産業界の利用サイドの観点からの意見・要望を発信しました。その多くは政府や関連機関にも受け入れられ、具体的な施策化に向けた検討が開始されていますが、今後の議論や更なる検討を要すると思われる事項を整理して次のように指摘を行いました。

- 1.産業界が利用するソフトウェアの環境整備
- 2.産業界の問題解決に資する先端的ソフトウェアの充実
- 3.情報セキュリティの現状理解と評価
- 4.ポスト「京」時代に向けた周辺環境の拡充
- 5.潜在ユーザの取り込みに向けた利用促進および支援
- 6.ポスト「京」への期待と要望

産応協は、これまでも文科省の委員会等を通じ、「ポスト『京』の早期実現への期待」に関する意見発信・提言¹を実施してきましたが、改めて、「京」を含む現在の HPCI 計算資源では成し得ない先端実証実験のテストベッドとして、将来のイノベーションを産み出す最先端コンピューティング環境となるポスト「京」の実現を大いに期待をいたします。

一方で、「京」からポスト「京」への移行期間を可能な限り短くするとともに、早期の成果創出のために利用準備のための計算環境(「京」同等のアーキテクチャの計算機、コンパイラ、ツール群等)の充実、関連情報の早期提供、場合によっては正式な運用開始前のテスト的な利用、暫定運用等による早期のアクセスの機会の提供を望みます。

[これまで発信した意見・要望]

¹ 「ポスト『京』で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題(案)」についての意見 (2014/7/4 付)

<http://www.icscp.jp/wp-content/uploads/2016/09/teigen00002.pdf>

ポスト「京」への期待 (2016/2/24 付)

<http://www.icscp.jp/wp-content/uploads/2016/09/teigen00007.pdf>

「京」の共用に関する評価 および「京」の今後に向けた意見・要望 (2016/3/11 付)

<http://www.icscp.jp/wp-content/uploads/2016/09/teigen00008.pdf>

第 8 回 HPC ものづくりワークショップ開催概要報告

2017 年度第 1 回 HPC ものづくりワークショップ(通算第 8 回)は、平成 29 年 6 月 15 日(木) 東京大学生産技術研究所会議室において開催し、産応協ボックスファンベンチマークの活動現況をはじめ、今回は特に協力・支援を頂いた個別報告を 5 社から発表し、それぞれの

内容について評価検討を行うことにより今後の活動指針を整理することができた。さらにポスト京重点課題 8 の現状報告を行い、情報共有を図りました。

なお、本活動は、ギブ・アンド・テイクを原則として運営し、相互に活動のメリットを高め合ってきており、本分野に関心のある会員外の方にも広く参加協力をお願いしています。今回からは、相互の活動意識を高める一環としてターボ機械 HPC 実用化分科会 WG と活動連携を図ることとなりました。

本ワークショップにご関心のある方は、産応協事務局へお問い合わせください。次回第 9 回 HPC ものづくりワークショップは、平成 29 年 11 月頃を予定しています。



主催：スーパーコンピューティング技術産業応用協議会
共催：東京大学生産技術研究所革新的シミュレーション研究センター
日時 平成 29 年 2 月 13 日（月）13:30-17:45（開場 13:00）
場所 東京大学生産技術研究所 An 棟 3 階大会議室
参加者:29 名

第 38 回スパコンセミナーの開催案内

産応協では、本年度においても 3 回のスパコンセミナーを開催し、開催の基本コンセプトに基づいて「産業利活用のシーズとニーズの明確化」「産業界を代表する HPC 活用の普及」「時流に合ったテーマ設定によるコミュニティへの訴求」「産応協の活動の対外発信」に努めていきます。

2017 年度第 1 回目のセミナーでは、産応協の提言策定チームを中心に重要性が認識されている「HPC におけるセキュリティ」をテーマに選定いたしました。当日は、産業界における HPC 利活用促進に関わる応用ソフトウェアやデータの保護を含め、情報セキュリティについて有識者の方々を講師にお招きし、ご講演いただきます。

また合わせて、本年 1～2 月に現地調査を実施した欧州での産業利活用の動向について、産応協よりご報告いたします。参加のご案内は、ホームページに掲載いたしますので、ご覧になってください。

- 開催日時 : 2017 年 7 月 27 日(木) 13:00～17:00 (開場 : 12:30)
- 開催場所 : 機械振興会館地下 2 階 1 号 (東京都港区芝公園 3-5-8)
- HPC 情報セキュリティの現状理解と評価

http://www.icscp.jp/s/info_teigen/read.php?file=20170514_01.pdf

各企業では、機密性の高いデータやプログラムを利用するケースがあり、情報セキュリティの関心が非常に高い、まずは、HPCI の情報セキュリティ(ガイドライン、利用契約、チェックリスト等)について、HPCI 運営側と議論を行い、その現状を認識し、HPCI

利用のメリットとリスクを適切に評価できるようになることが望ましい。このため、産業界間の情報共有の一環として企画立案しました。

■ プログラム：(講師・演題等は予告無く変更になることもあります)

13:00～13:05	開催の挨拶
13:05～13:55	サイバーセキュリティ概論 情報セキュリティ大学院大学セキュリティ研究科 教授 大久保 隆夫
13:55～14:45	情報セキュリティ 10 大脅威 2017 独立行政法人 情報処推進機構 (IPA) 技術本部 セキュリティセンター 情報セキュリティ技術ラボラトリー 研究員 土屋 正
14:45～15:00	休憩
15:00～15:45	SINET (学術情報ネットワーク) のサービスと DDoS 対策への取り組み紹介 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所 (NII) 学術ネットワーク研究開発センター 特任教授 山田博司
15:45～16:20	HPC 関連のセキュリティへの課題と対応 日本電気株式会社 第一官公ソリューション事業部 プロジェクトディレクター 鎌守直樹
16:20～16:55	海外調査報告:産業界からみた欧州 HPC シミュレーションの動向 産応協 産業用シミュレーション・ロードマップ TF 主査 金澤宏幸
16:55～17:00	閉会の挨拶

参加費：80名 先着順に受け付け、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。なお、正会員企業(団体)は、無料参加できますので事務局への確認をお願いします。

参加費：50,000円(税込、2017年度開催の3回分、今後の開催予定は下記を参照下さい) 一括申込みの場合は、各回何名様でも参加できます。また、各回ごとの個別申込みでは参加費は20,000円/人となりますので、一括申込みの方が割引となります。是非、一括支払いにてお申し込み下さい。

申し込み：E-mail または Fax にて事務局までお申し込みください。

【記入事項】①氏名(性別) ②会社・機関名 ③所属 ④E-mail ⑤電話番号

[情報共有・連携]

スパコン産業利用セミナー2017

～他社事例に学ぶシミュレーション技術活用～

【日時】2017年7月25日(火) 13:30～17:00 【会場】神戸商工会議所会館 3階 神商ホール

【参加費】無料 【定員】100名

【対象】企業の技術者、シミュレーション技術を導入したい中堅・中小企業の経営者層

【参加費】無料

【主催】神戸商工会議所、公益財団法人計算科学振興財団

開催趣旨

計算科学振興財団は2011年4月に産業界専用の公的スーパーコンピュータである「FOCUS スパコン」の運用を開始し、これまで250社を超える企業にご利用いただきました。コンピュータをめぐる周辺技術が目まぐるしく変化・進化する中、スーパーコンピュータを活用したシミュレーション技術も着実に浸透しています。

本セミナーでは、企業の開発現場におけるシミュレーション技術の活用方法や成果を得るまでの取組みなど、各社における事例をご紹介します。

これからシミュレーション技術の導入を検討されている方はもちろんのこと、既にシミュレーションを利用されている現場の技術者の方々にもお役立ていただけるセミナーを開催いたします。

プログラム

	12:30-13:30	受付 企業展示	アプリベンダー企業等による最新情報を提供	
	13:30-13:35	挨拶	主催者挨拶	
	13:35-13:50		シミュレーション技術活用を促進する活動について 公益財団法人計算科学振興財団 「OpenFOAM による流体解析ベンチマークテスト」 今野 雅 氏	
第 1 部	13:50-14:20	特別講演	一般社団法人オープン CAE 学会 会長、 東京大学情報基盤センター 客員研究員、 株式会社 OCAEL 代表取締役 「産業向けプリンタ用ヘッド開発に活かすインク飛翔解析 ～3次元非定常、固液連成、2相自由表面の計算～」	
	14:20-14:50	事例講演 1	渡辺 聖士 氏 セイコーインスツル株式会社 生産技術本部 生技企画 部 主任	《参考》事例 集への寄稿(※)
	14:50-15:20	休憩・名刺交換会・企業展示	「第一原理計算による劣化したリチウムイオン二次電池 の解析」 世木 隆 氏	
	15:20-15:50	事例講演 2	株式会社コベルコ科研 技術本部 材料ソリューション 事業部 エレクトロニクス技術部 主任研究員	《参考》事例 集への寄稿(※)
第 2 部	15:50-16:20	事例講演 3	「数値流体力学(CFD)を活用したハイパフォーマンスモーター サイクル Kawasaki Ninja H2/H2R の開発」 森川 学 氏 川崎重工業株式会社 モーターサイクル&エンジンカン パニー 技術本部 技術管理部 開発技術課 主事	《参考》事例 集への寄稿(※)
	16:20-16:50	事例講演 4	「ゴムベルトの構造解析シミュレーション ～スパコンとオープンソースの活用による大規模化・高速 化の試み～」 徳田 明彦 氏 三ツ星ベルト株式会社 産業資材技術統括部 実験担 当 専任課長	《参考》事例 集への寄稿(※)

※事例集への寄稿内容は、当日の講演内容とは必ずしも一致しません。

企業展示 セミナー会場にて企業展示を行います。 展示時間：12:30～セミナー終了時間
出展企業の情報は、内容が決まり次第、ご案内いたします。

お申込み こちらの参加お申込みフォームよりお申し込みください。

申込み締め切り 2017年7月20日(木)

お問い合わせ先 公益財団法人計算科学振興財団 普及促進グループ

TEL:078-599-5024 FAX:078-303-5611 Email:seminar@j-focus.or.jp

今後の予定

7/27 第25回企画委員会開催

7/27 第38回スパコンセミナー開催「HPC(高性能計算)におけるセキュリティ」

【産応協事務局】

事務局は「虎ノ門」に設けておりますので、お問い合わせをお待ちしております。

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

事務局 滝口、清

電話 03-6435-5425 Email:icscp@nifty.com